

平成24年度
岩手医科大学共通教育センター
授業評価報告書

共通教育センター教務委員会



目次

1. 平成24年度 共通教育センター授業評価に寄せて ～この3年間を振り返って～	
共通教育センター教務委員長 松政 正俊	1
2. 岩手医科大学共通教育センター授業評価 内規・要領	2
3. 実施結果	
□「学生による評価」平均ポイント	
・「教員の評価」総合	7
・「教員の評価」評価実施時期別（前期・後期）	8
・PBL	12
・「科目全体の評価」	13
□平成24年度 BestTeacher（医・歯・薬・複数学部合同科目）	14
4. 結果の解析	
□学部別 総合評価ポイント	17
□評価人数と総合評価ポイントの相関	18
□総合評価ポイントの分布	20
参考資料	
◆評価マークシート	
・学生による教員の評価	23
・教員による講義・実習の評価	24
・学生による科目全体の評価	25
◆共通教育センター授業科目一覧	26

平成 24 年度 共通教育センター授業評価に寄せて

～この 3 年間で振り返って～

共通教育センター教務委員長 松政 正俊

本報告の端書きを綴るのは 3 年目である。1 年目の平成 22 年度には、共通教育センターの運営体制が変更されたことや、「大学教育の分野別質保証の在り方について」(日本学術会議;平成 22 年 7 月)との関連から、授業評価(「学生による教員の評価」)の継続・改善が増々重要になってきていることを述べた。授業評価の運用およびその方針の検討を教務委員会が常時行うようになったのも、この年からである。同時に、共通教育センターの外からの批判を仰ぐ目的で、本報告書も大学のホームページで公開し始めた(ホームページ掲載は1年溯った平成 21 年度のものから)。評価結果の解析も開始し、2 年目の昨年度の報告書には、総合評価とその他の設問に対するポイントとの相関図を掲載し、学生がどのような講義を「良い」講義と判断しているかを推定した。高い相関は、講義の構成と質(程度・内容・量)に関する設問のほか、学生への接し方・熱意や教員の話し方に関する設問との間に認められ、講義内容のみならず、内容の提示方法が適切な講義を、学生は「良い」講義と判断していると推定された。授業改善といえば、教員は講義内容の改善に力を注ぎがちであるが、プレゼンテーションにおける工夫も極めて重要であると考えられる。今年度の報告書には、受講生の人数と総合評価との関係を示す散布図を掲載した。これは、授業評価の適切性を検討するとともに、受講生の人数設定の妥当性を評価するためである。すなわち、講義・実習の効果は受講生の人数の影響を受けると同時に、授業評価におけるバイアスも受講生(評価者)の人数の影響を受けざるはずである。少人数教育を目指し、実践している英語、特に英会話に関する科目が安定して高い評価を得ていることは、教育効果を上げるうえで、適正な学生数を設定することも1つの要素になることを明示している。一方、限られた時間数・スペースの中で、少人数教育を実現できる科目は多くないのも実情である。こうした状況において、多くの学生さんを相手に高い評価を得ている科目に注目し、その講義・実習の良さを学び、共有することは重要であろう。

この 3 年の間に、共通教育センター全科目における総合評価(5 点満点)の平均は、平成 22 年度の 3.97 から昨年度の 4.06、そして今年度の 4.22 と上昇している。評価点の絶対値がどの程度の意味をなすかという判断は難しいが、少なくとも、学生にとって満足度の高い講義・実習を共通教育センターは提供し続けていると判断して良いだろう。その一方で、上述のように、数字が意味するところが何かを常に考え続けて行くことが肝要であると思われる。数字で評価しながらも、数に踊らされない姿勢が極めて大切である。「学生による評価で『良い』とされる授業が本当に良いものなのだろうか」という疑義に対して、評価点だけに囚われずに、どのような点が学生に評価されているのかを明確にしていくことが、本当の意味での授業改善につながるはずである。

最後に、本年度も常勤・非常勤の諸先生、ならびに学生の皆さん、および矢巾キャンパス共通教育・総務課の皆様の協力によってスムーズに授業評価を実施し、本報告を纏める段階までこぎ着けることが出来た。この場を借りて御礼申し上げるとともに、来年度からの新カリキュラムについても、共通教育センターの授業評価が見直しと改善のためのツールとして大いに役立つことを祈念し、巻頭の言葉を結ぶこととする。

2013 年 3 月

共通教育センター授業評価に関する内規

(目的)

第 1 条 共通教育センター授業評価(以下「授業評価」)は、教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善と外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立を目的とする。

(運営)

第 2 条 授業評価は、共通教育センター会議(以下「センター会議」)および共通教育センター教務委員会(以下「教務委員会」)が運営する。

(評価)

第 3 条 授業評価は共通教育センター所属の全教員を対象とする。

- 2 各学部第 2 学年以上で担当する科目に係る授業評価実施の諾否は、当該教員の承諾があれば共通教育センター長(以下「センター長」)および共通教育センター教務委員長(以下「教務委員長」)の許可を必要としない

(評価の解析と開示)

第 4 条 評価用紙、調査結果の解析は教務委員会が行う。

- 2 調査結果・解析結果(以下「結果等」)は、センター長および教務委員長が当該科目の科目担当責任者及び当該教員に通知する。ただし、結果等は教員の勤務評定・学生の成績評価に影響を与えるものではない。
- 3 評価の高い教員(非常勤講師を含む)については、当該教員の了承を得た上で結果等を公表し表彰する。
- 4 評価用紙に記入した学生の氏名等は被評価者(当該教員)には公表しない。
- 5 評価用紙、結果等を基にした学生が不利益となる行為、また、講義・実習担当者が不利益となる行為は禁止する。
- 6 評価を実施した教員以外の者、各学部の教務委員会・部会等から結果等の開示・使用依頼がある場合は、教務委員会およびセンター会議の議を経たうえで提供することができる。

(管理)

第 5 条 評価用紙、結果等の管理責任者はセンター長とする。

- 2 評価用紙、結果等の管理・保管は共通教育・総務課が行う。

(保存)

第 6 条 結果等の保存期間は 10 年とする。

(改廃)

第 7 条 この内規の改廃は、センター会議の議を経て行う。

附則 この内規は平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この内規は平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 23 年 5 月 25 日 一部改正)

共通教育センター授業評価実施要領

1. 目的

- 1) 教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善
- 2) 外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立

2. 実施項目

- 1) 学生による講義・実習評価(対象:全学生)
- 2) 教員による講義・実習評価(対象:全授業担当教員)
- 3) 科目全体の評価(対象:原則として複数科で担当する科目および実習科目とする。ただし、希望があればその限りではない。)

3. 実施方法

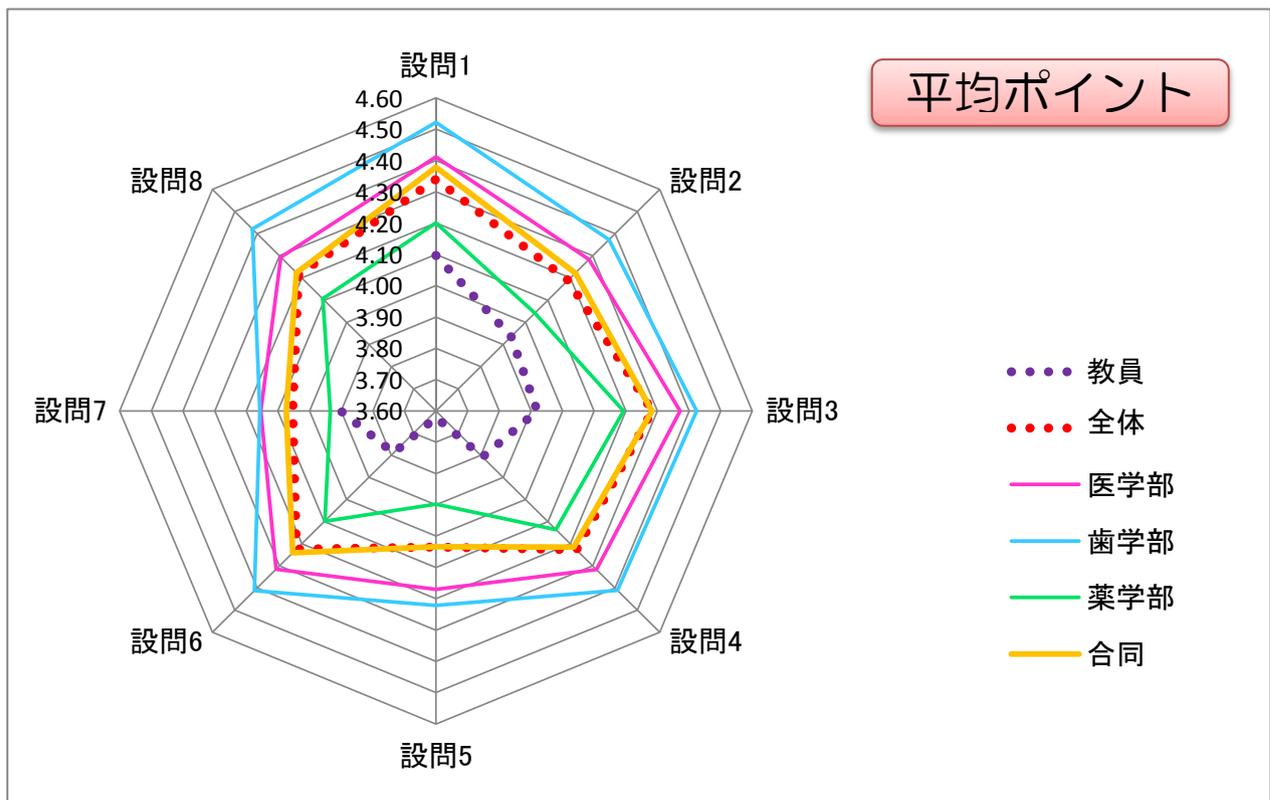
- 1) 授業評価は、原則として全授業担当教員と全実習科目について実施する。
- 2) 授業評価の実施回数ならびに日時は、次にあげる者が決定する。
 - ① 講義科目については各担当教員
 - ② 複数の教員で担当する実習科目についてはその科目責任者
- 3) 「学生による教員の評価」と「教員による講義・実習の自己評価」は統一した評価用紙を用いて記名式で同時に行う。
- 4) 授業評価は、原則として当該授業科目の授業時間内に実施する。
- 5) 科目全体の評価を除く講義科目については、原則としてその科目の講義担当者の評価、実習についてはその科目の評価を行う。
- 6) 科目全体の評価については、その科目全体の総合的な評価を記入する。
- 7) 実習については、その科目の全実習の総合的な評価を原則とするが、実習領域別に担当者や科で分担している場合にはその分担範囲毎に行う。
- 8) 学生からの評価用紙は、講義・実習とも講義室に設置してある回収箱に学生個々が直接提出する。
- 9) 教員の評価用紙の回収も前項と同様に講義室の回収箱に提出する。
- 10) 評価用紙(学生及び教員分)は、講義については授業実施教員に、実習については科目責任者に事前に配布する。
- 11) 評価はマークシート方式を用いて行う。
- 12) 集計作業は共通教育・総務課が行う。
- 13) 調査結果の解析は共通教育センター教務委員会(以下「教務委員会」)が行う。調査結果・解析結果(以下「結果等」)の概要は、前期及び後期終了時に教務委員会及び共通教育センター会議に報告する。
- 14) 結果等は、当該授業評価終了の都度担当教員と科目責任者に通知しフィードバックを図る。但し、個々の学生の評価内容は教員へは通知しない。
- 15) コメント欄に記載された事項は解析の対象とせず、当該講義担当者と科目責任者(実習の場合は科目責任者のみ)に通知し、フィードバックを図る。
- 16) 評価用紙、結果等の管理責任者は共通教育センター長とし、その管理・保管は共通教育・総務課が第三者に漏洩しないよう、また、目的以外に使用されないよう適切に管理する。

実施結果

- 「学生による評価」平均ポイント
 - ・「教員の評価」総合
 - ・「教員の評価」評価実施時期別（前期・後期）
 - ・PBL
 - ・「科目全体の評価」
- 平成24年度 Best Teacher（医・歯・薬・複数学部合同）



『学生による教員の評価』 総合結果

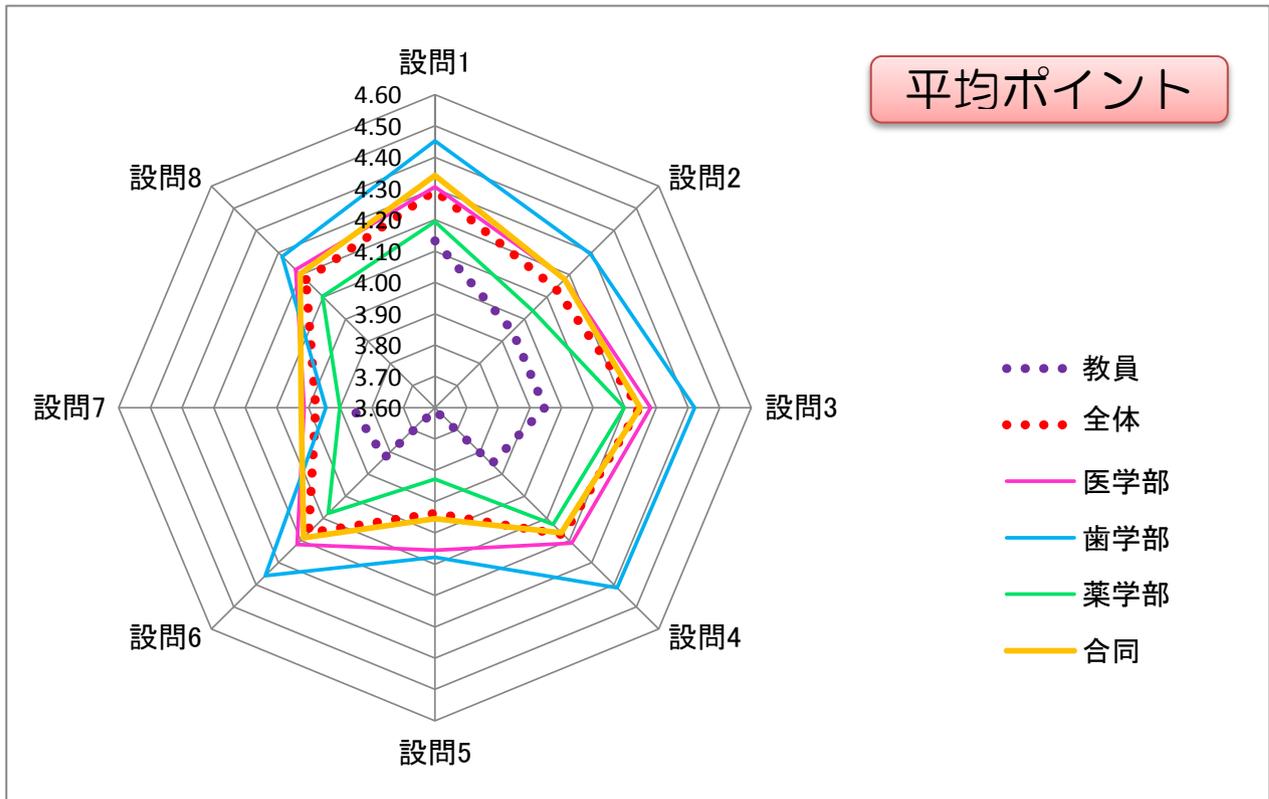


		教員	全体	医学部	歯学部	薬学部	合同
講義について	設問1	4.10	4.34	4.41	4.52	4.20	4.38
	設問2	3.94	4.19	4.28	4.37	4.04	4.22
	設問3	3.92	4.28	4.37	4.42	4.19	4.28
	設問4	3.81	4.23	4.32	4.41	4.14	4.22
	設問5	3.62	4.03	4.17	4.22	3.90	4.03
	設問6	3.79	4.22	4.32	4.41	4.10	4.24
自己反省/ 学生について	設問7	3.90	4.05	4.15	4.16	3.93	4.07
その他	設問8		4.21	4.29	4.42	4.11	4.22
述べ評価人数		125	7,017	1,584	504	2,228	2,701

【設問内容】

学生による教員の評価	設問	教員による講義・実習の評価
講義はよく準備がなされていたか。	1	講義の準備は充分であったか。
講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。	2	要点をわかりやすく教授・指導できたか。
学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。	3	学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。
話し方はどうだったか。	4	話し方は適切だったか。
学習意欲が刺激されたか。	5	学生の学習意欲を刺激できたか。
この授業に対する総合評価を示してください。	6	この授業に対する総合評価を示してください。
自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。	7	学生の受講態度はどうだったか。
この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。	8	

『学生による教員の評価』 前期結果



		教員	全体	医学部	歯学部	薬学部	合同
講義について	設問1	4.13	4.29	4.31	4.45	4.19	4.34
	設問2	3.95	4.14	4.18	4.29	4.04	4.18
	設問3	3.95	4.25	4.28	4.42	4.20	4.25
	設問4	3.85	4.17	4.21	4.41	4.13	4.16
	設問5	3.61	3.94	4.06	4.08	3.83	3.95
	設問6	3.83	4.17	4.22	4.36	4.08	4.19
自己反省/ 学生について	設問7	3.86	3.98	4.01	3.95	3.90	4.02
その他	設問8		4.18	4.22	4.28	4.10	4.20
述べ評価人数		75	3,888	672	208	1,277	1,731

【設問内容】

学生による教員の評価	設問	教員による講義・実習の評価
講義はよく準備がなされていたか。	1	講義の準備は充分であったか。
講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。	2	要点をわかりやすく教授・指導できたか。
学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。	3	学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。
話し方はどうだったか。	4	話し方は適切だったか。
学習意欲が刺激されたか。	5	学生の学習意欲を刺激できたか。
この授業に対する総合評価を示してください。	6	この授業に対する総合評価を示してください。
自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。	7	学生の受講態度はどうだったか。
この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。	8	

▶前期期間に実施した科目一覧

【講義科目】

学部	科目名	学部	科目名
医	English Speaking & Listening	医・歯	情報の数理
医	English Reading & Writing	医・歯	近代日本文学
医	健康運動科学	医・歯	情報リテラシー
医	心理学	医・歯	哲学
医	数理統計学	医・歯	法学
歯	English Speaking & Listening	医歯薬	ことばの諸相
歯	English Reading & Writing	医歯薬	ドイツ文化論
歯	健康運動科学	医歯薬	英語講読
歯	心理学	医歯薬	日本語表現論
歯	数理統計学	医歯薬	教養の化学
薬	英会話	医歯薬	教養の生物学
薬	基礎英語 I	医歯薬	準備化学
薬	基礎数学	医歯薬	準備生物学
薬	近・現代哲学	医歯薬	準備物理学
薬	近代日本文学		
薬	情報科学		
薬	法学		

【実習科目】

学部	科目名
医歯合同	生物学実験
医歯合同	化学実験
薬	物理学実習
薬	生物学実習
3学部合同	問題解決型学習(PBL)

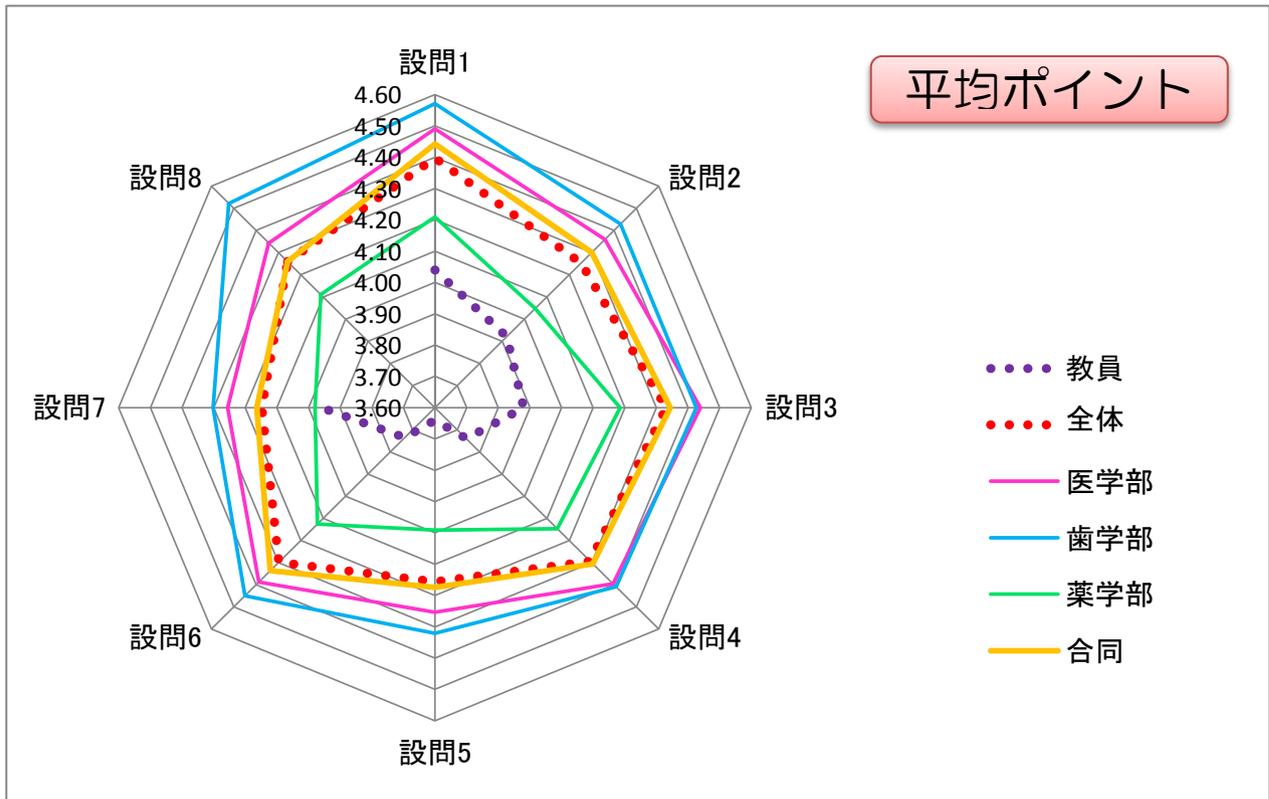
【全体に対するコメント：学生】

- ・このアンケートに自分の氏名を書く必要はあるのか？
- ・教室が狭いです!!(医学部学生)

【全体に対するコメント：教員】

- ・授業中、頻繁に退室・入室を繰り返す学生がいる(5、6人)
- ・真後ろを向いて話をし、注意しても聞かない学生がいる(2、3人)

『学生による教員の評価』 後期結果



		教員	全体	医学部	歯学部	薬学部	合同
講義について	設問1	4.04	4.40	4.49	4.57	4.21	4.44
	設問2	3.92	4.25	4.36	4.43	4.05	4.30
	設問3	3.88	4.33	4.44	4.43	4.19	4.34
	設問4	3.74	4.29	4.40	4.41	4.15	4.31
	設問5	3.64	4.16	4.25	4.32	3.99	4.17
	設問6	3.73	4.30	4.39	4.45	4.13	4.34
自己反省/ 学生について	設問7	3.96	4.15	4.26	4.30	3.98	4.16
その他	設問8		4.26	4.34	4.52	4.11	4.26
述べ評価人数		50	3,129	912	296	951	970

【設問内容】

学生による教員の評価	設問	教員による講義・実習の評価
講義はよく準備がなされていたか。	1	講義の準備は充分であったか。
講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。	2	要点をわかりやすく教授・指導できたか。
学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。	3	学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。
話し方はどうだったか。	4	話し方は適切だったか。
学習意欲が刺激されたか。	5	学生の学習意欲を刺激できたか。
この授業に対する総合評価を示してください。	6	この授業に対する総合評価を示してください。
自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。	7	学生の受講態度はどうだったか。
この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。	8	

➤後期期間に評価を実施した科目一覧

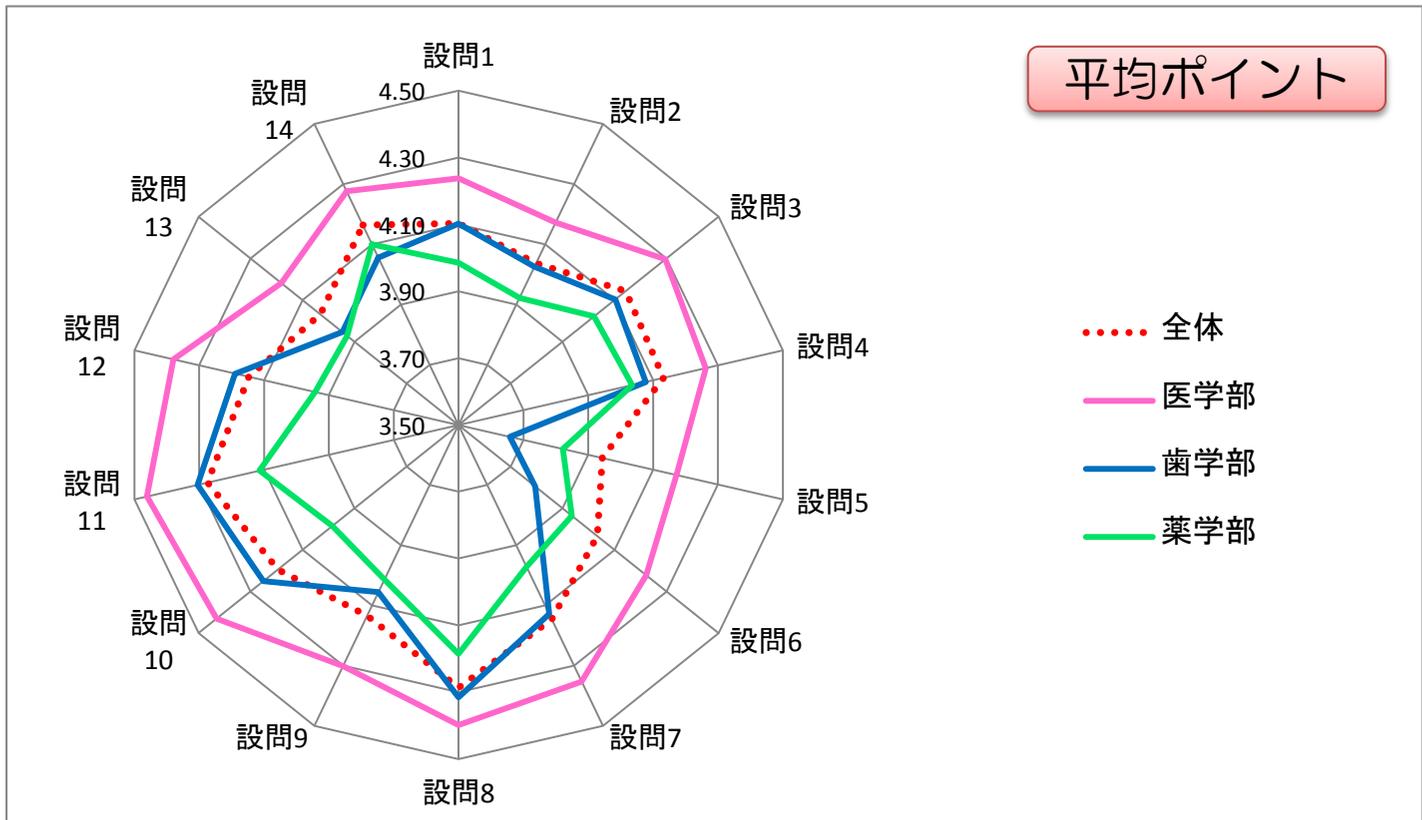
【講義科目】

学部	科目名	学部	科目名
医	English Speaking & Listening	薬	基礎英語Ⅱ
医	English Reading & Writing	薬	基礎化学
医	カウンセリング論	薬	基礎生物学
医	人体を観る・診る・描く	薬	基礎物理学
医	数理統計学	薬	健康運動科学
医	専門課程への化学	医・歯	物理学
歯	English Speaking & Listening	医歯薬	いのちの文化論
歯	English Reading & Writing	医歯薬	いのちの倫理学
歯	人体を観る・診る・描く	医歯薬	医療と法律
歯	数理統計学	医歯薬	人格の心理学
歯	専門課程への化学	医歯薬	ドイツ語会話
歯	専門課程への生物学	医歯薬	フランス語会話
		医歯薬	韓国語会話

【実習科目】

学部	科目名
医	物理学実験
医	人体を観る・診る・描く
歯	人体を観る・診る・描く
歯	物理学実験
薬	化学実習

平成24年度 第1学年PBL 評価結果



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	人数
全体	4.10	4.04	4.14	4.13	3.94	4.03	4.15	4.29	4.13	4.20	4.27	4.15	4.03	4.16	302
医学部	4.24	4.17	4.30	4.26	4.17	4.22	4.35	4.40	4.30	4.43	4.46	4.38	4.18	4.28	122
歯学部	4.10	4.03	4.10	4.08	3.66	3.79	4.13	4.32	4.06	4.25	4.31	4.19	3.95	4.06	39
薬学部	3.99	3.92	4.02	4.04	3.82	3.94	3.97	4.19	4.01	3.99	4.11	3.94	3.93	4.10	141

【評価設問項目】

- 設問1 講義はよく準備がなされていたか。
- 設問2 講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。
- 設問3 学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。
- 設問4 話し方はどうだったか。
- 設問5 学習意欲が刺激されたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。
- 設問8 KJ法を使用して問題抽出ができたか
- 設問9 効果的なプレゼンテーションができたか。
- 設問10 グループでの自分の役割を遂行できたか。
- 設問11 必要な情報を図書館やインターネットを使用して収集し、活用できたか。
- 設問12 積極的に作業・議論に参加できたか。
- 設問13 自己学習能力が向上したか。
- 設問14 今回のテーマは有意義だったか。

【学生のコメント】

- ・大変有意義だった。
- ・グループで話し合えて楽しかったです！
- ・有意義でした！
- ・ポートフォリオが読みにくい。
- ・非常に自分のためになった授業だった。
- ・とても楽しく受けることができました。

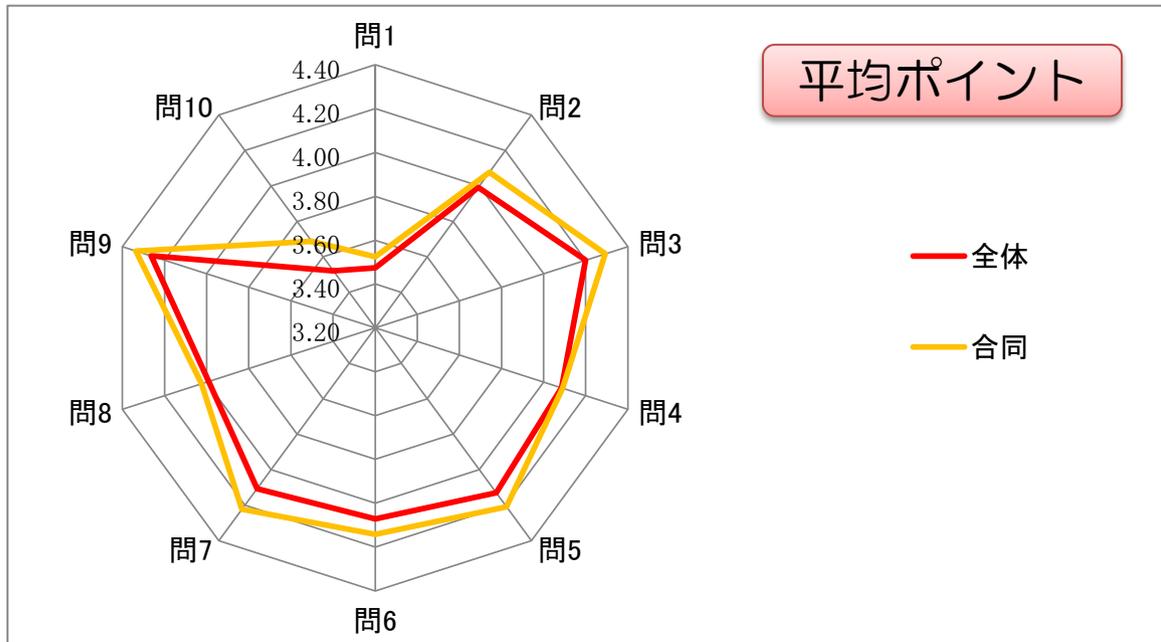
【今後のテーマとして興味のあるもの】

- ・日本の領土問題
- ・脳死や安楽死を考える
- ・患者の自己決定権について→終末期医療・在宅医療
- ・日本人の語学力アップについて
- ・つとめたい病院のとくちょう
- ・医学生について(あるべき姿など)
- ・地域医療関連
- ・医療の発展

『学生による科目全体の評価』結果（総合）

「科目全体の評価」は、複数科（講座）にまたがる教員によって実施される科目および実習科目のほか、科目担当責任者が希望する講義科目において実施されます。

実施科目数が少ないため、「全体」「複数学部合同科目」のみ表示しております。



	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	人数
全体	3.47	3.99	4.20	4.08	4.13	4.07	4.11	3.99	4.26	3.52	1,175
合同	3.52	4.08	4.29	4.09	4.21	4.14	4.22	4.02	4.34	3.69	464

設問

講義について	問1	内容に対する時間数は多かったか少なかったか。
	問2	科目全体は系統だったか。
	問3	全体を通して、講師の質・講義に対する姿勢は良かったか。 (良い・悪い教員について具体的氏名があげられる場合は自由記載欄に記入してください。)
	問4	最新の知見・知識に触れることができたか。
	問5	資料は適切だったか。 (良い・悪い具体的事例があげられる場合は自由記載欄に記入してください。)
	問6	この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。 (不適切と思う場合は、どこで行うのが効果的と思うかをできるだけ自由記載欄に記入してください。)
	問7	この科目の総合的な評価を示してください。
自己反省	問8	科目全体の統合した知識が身についたか。
	問9	講義(実習)に積極的に参加したか。
	問10	予習・復習を行ったか。

実施科目一覧

学部	科目名	学部	科目名
医	人体を観る・診る・描く	薬	生物学実習
歯	人体を観る・診る・描く	薬	物理学実習
医・歯	生物学実験	薬	化学実習
医・歯	化学実験	薬	情報科学演習
医・歯	物理学実験		

平成24年度 共通教育センターBest Teacher

- ✦「学生による教員の評価」設問6(“この授業に対する総合評価を示してください”)の上位3名を、共通教育センターより顕彰いたします。
- ✦同一教員が、同一科目で評価を複数回行っている場合や同一科目をクラス分けして実施している場合は、その全てを平均した結果を用いています。
- ✦これまでの実施結果から、評価の実施時期によってポイントに差が出ることがわかっているため、可能な限り評価実施を各講義の最終回に設定するよう依頼し、実施時期によるポイント差の是正を図りました。また、これまでの実施結果からは、設問6の評価ポイントは他の設問評価ポイントとも高い相関を示すという結果も得られています。

医学部

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント
👑	外国語学科(英語分野)		English Speaking & Listening	4.78
2	化学科		専門課程への化学	4.69
3	共通教育センター(外国語・英語)		English Speaking & Listening	4.65
次点	化学科		専門課程への化学	4.49

歯学部

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント
👑	外国語学科(英語分野)		English Speaking & Listening	4.90
2	共通教育センター(外国語・英語)		English Speaking & Listening	4.77
3	化学科		専門課程への化学	4.70
次点	共通教育センター		English Speaking & Listening	4.67

薬学部

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント
👑	外国語学科(英語分野)		英会話	4.63
2	共通教育センター(外国語・英語)		英会話	4.48
3	化学科		基礎化学	4.37
次点	共通教育センター(外国語・英語)		英会話	4.33

複数学部合同実施科目

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント
👑	化学科		準備化学	4.65
2	化学科		教養の化学	4.52
3	共通教育センター		イタリア語会話	4.50
3	情報科学科(数学分野)		情報の数理	4.50
次点	人間科学科(文学分野)		いのちの文化論	4.48

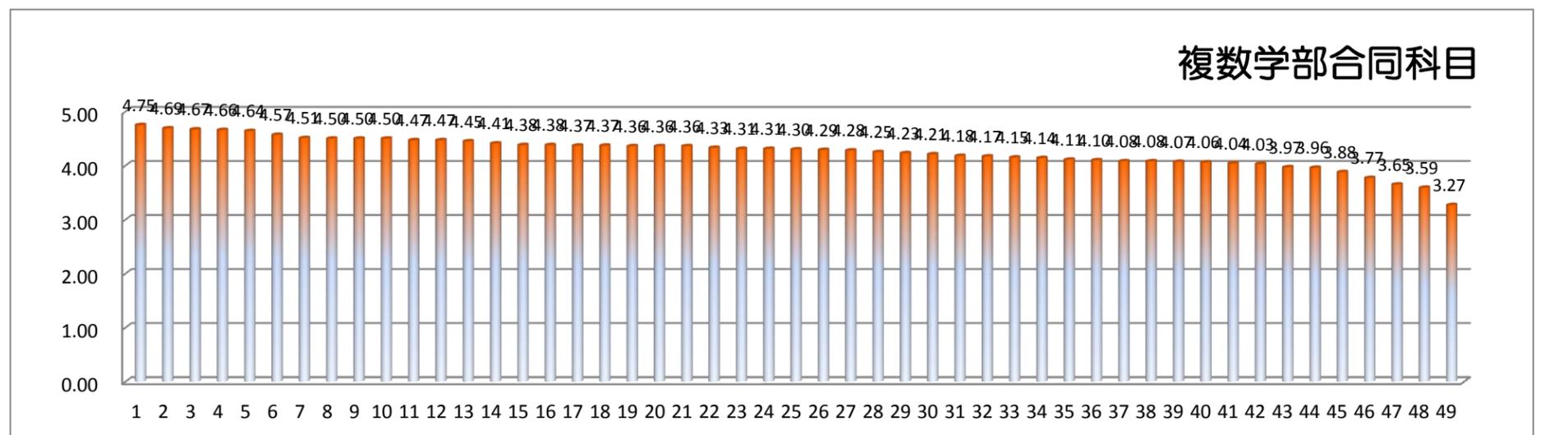
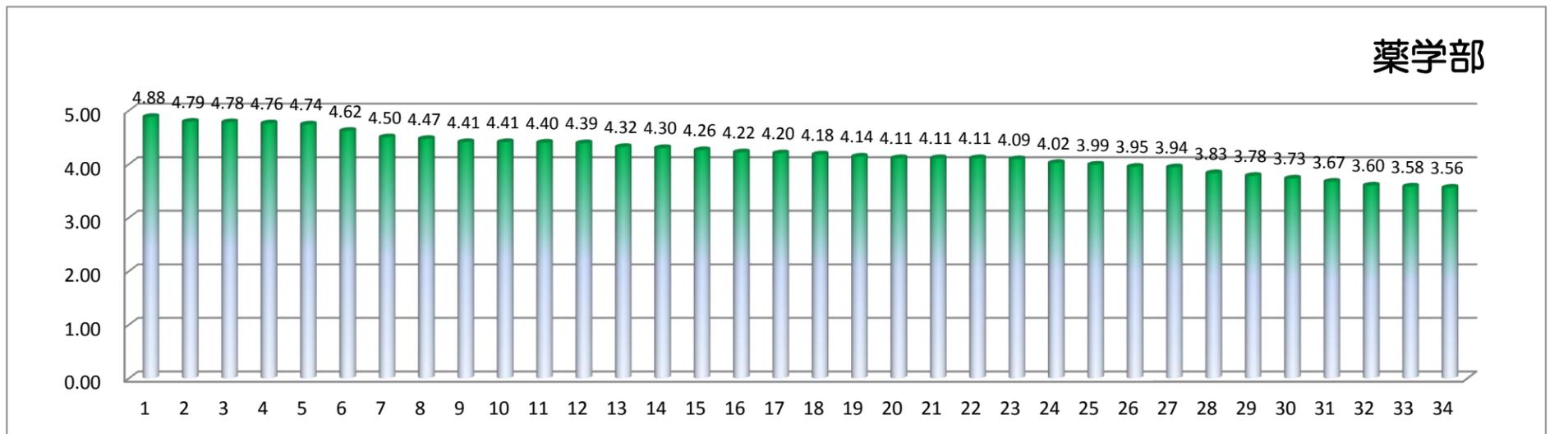
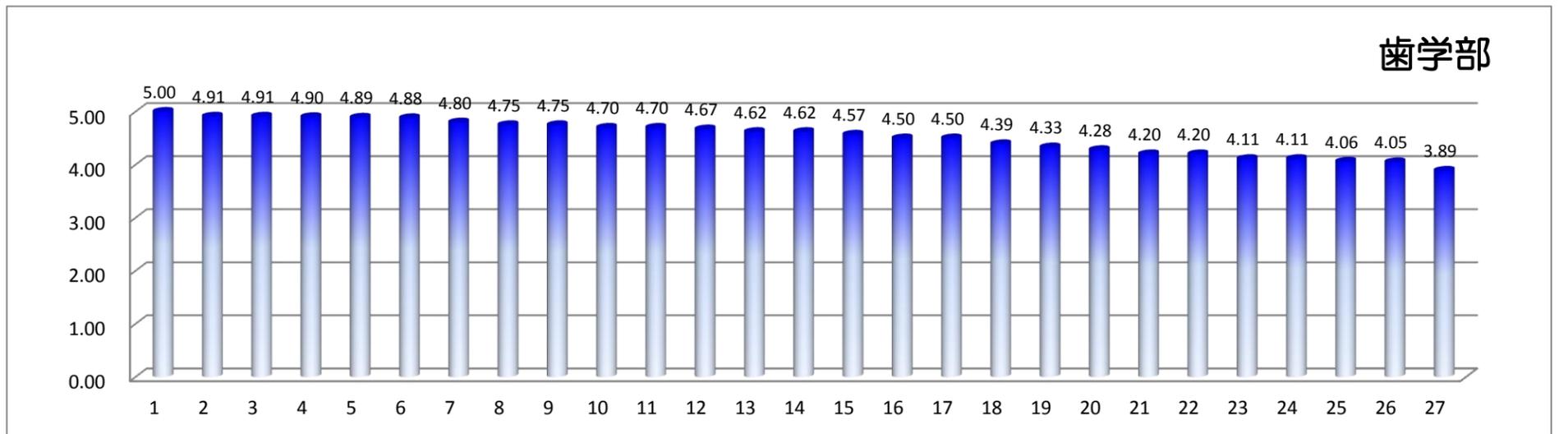
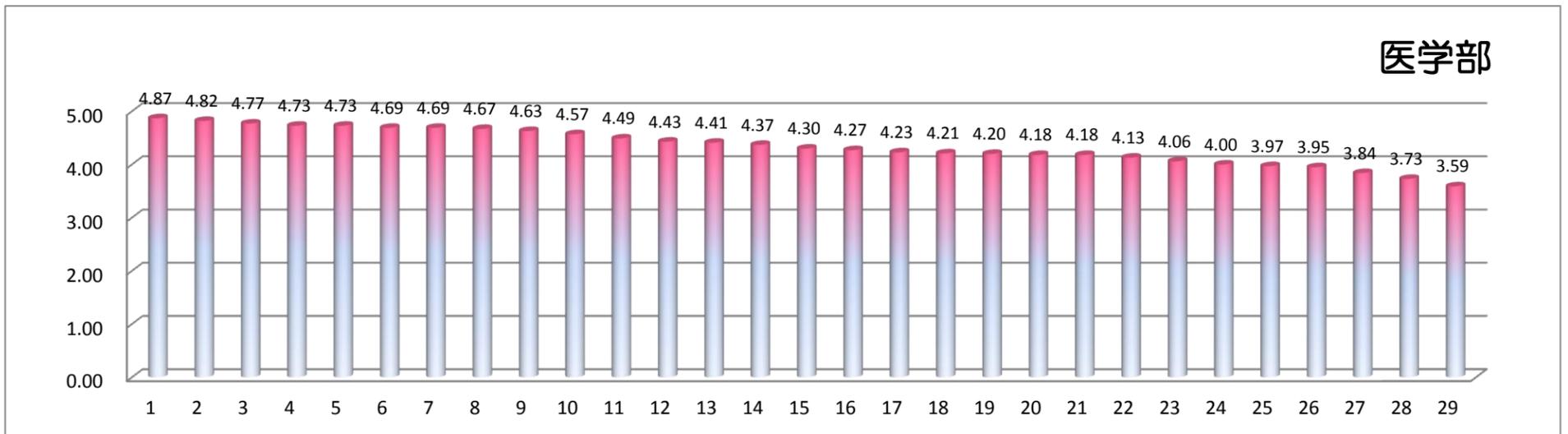




結果の解析

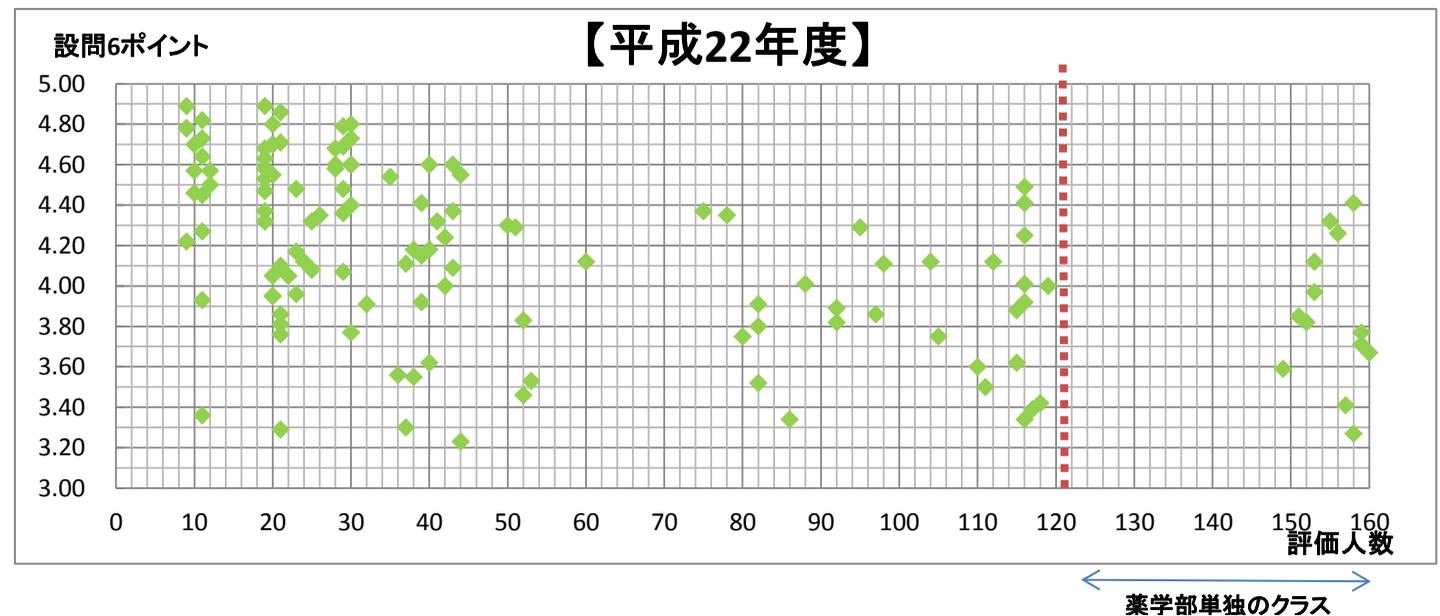
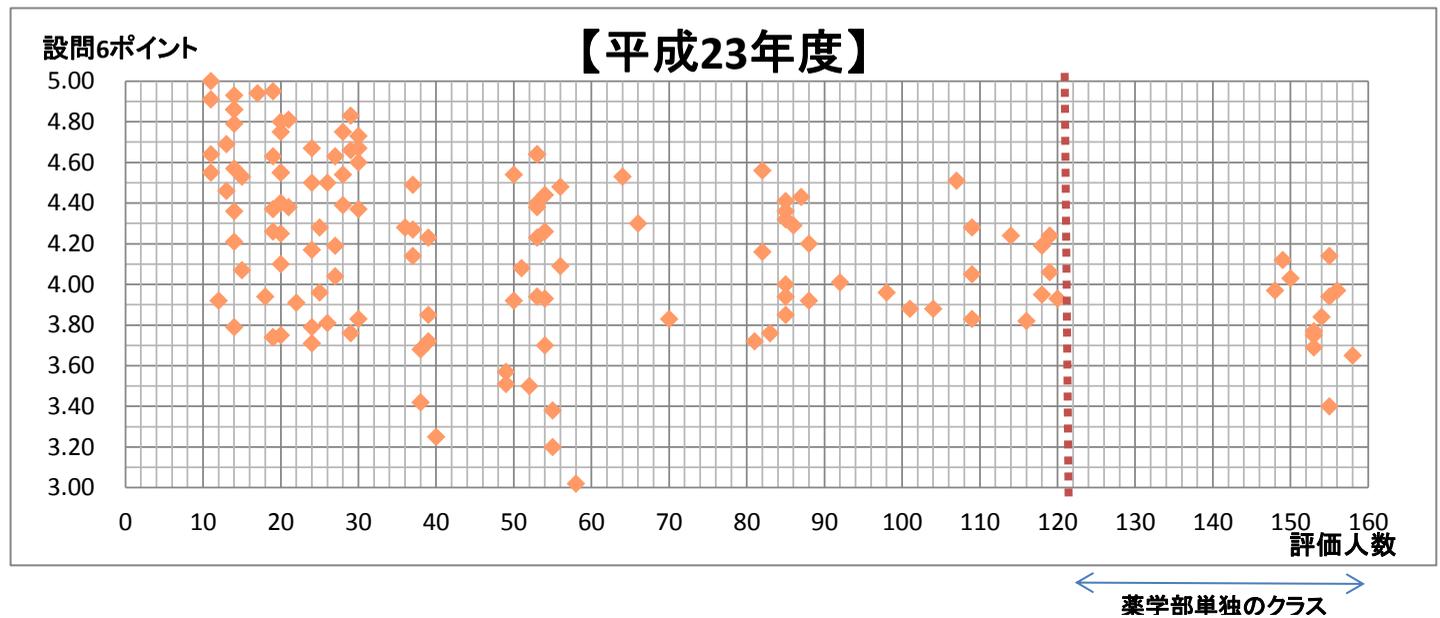
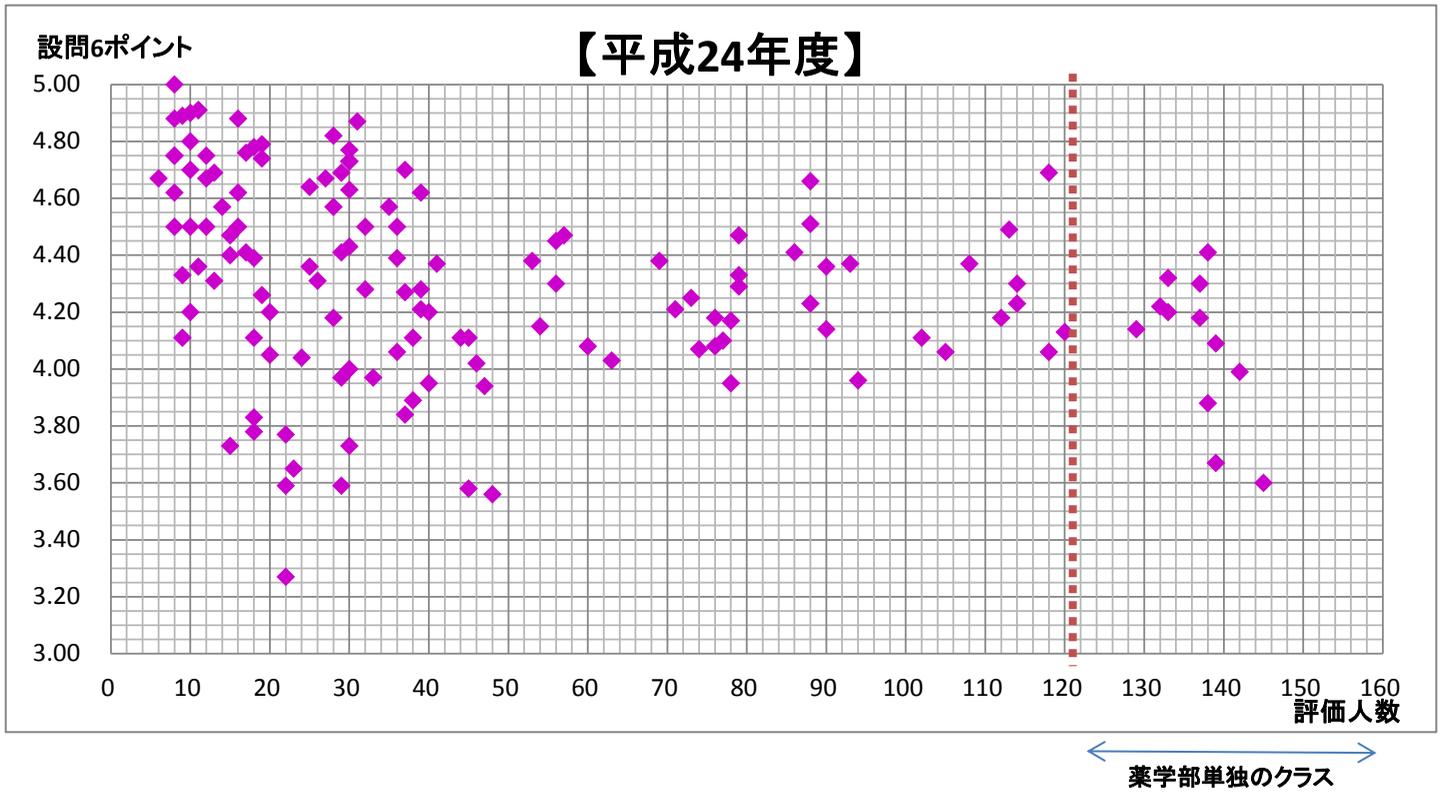
- 学部別 総合評価ポイント
 - 評価人数と総合評価ポイントの相関
 - 総合評価ポイントの分布
- 

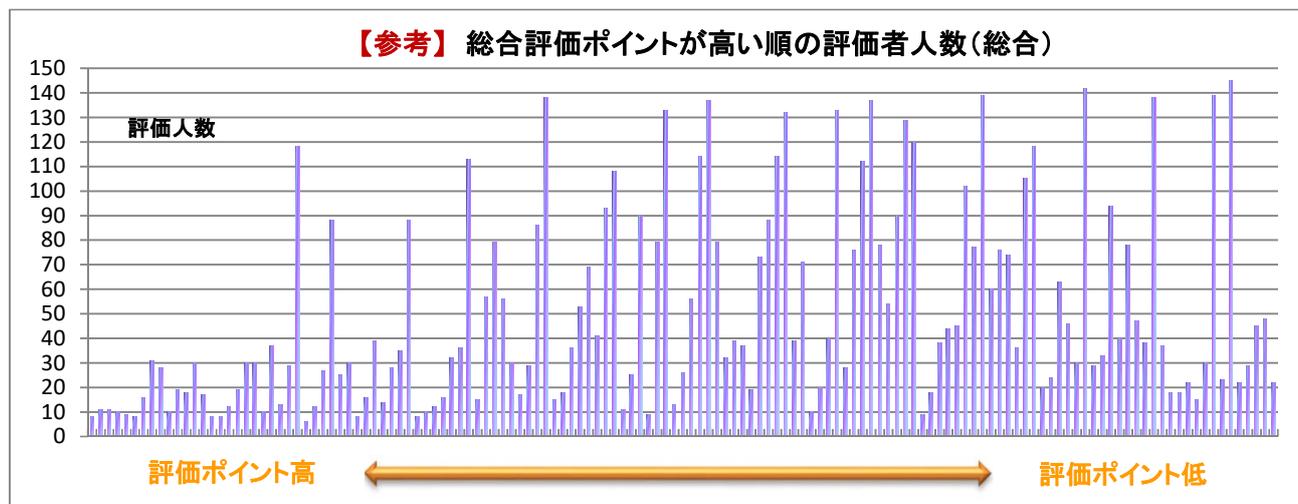
学部別 総合評価ポイント



評価人数と総合評価ポイントの相関

クラス的人数が評価に影響されているが、本当にそうなのか。
 評価人数別の総合評価ポイント分布を調べてみました。





【平成24年度 Best Teacherの評価人数】

※評価人数も、同一の科目で複数回評価を実施している場合は平均しています。

医学部

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	外国語学科(英語分野)		ESL	4.78	29.5
2	化学科		専門課程への化学	4.69	118
3	共通教育センター(外国語・英語)		ESL	4.65	29.25
次点	化学科		専門課程への化学	4.49	113

※ESL=Engrish Speaking & Listening

歯学部

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	外国語学科(英語分野)		ESL	4.90	9.75
2	共通教育センター(外国語・英語)		ESL	4.77	8.5
3	化学科		専門課程への化学	4.70	37
次点	共通教育センター		ESL	4.67	8.75

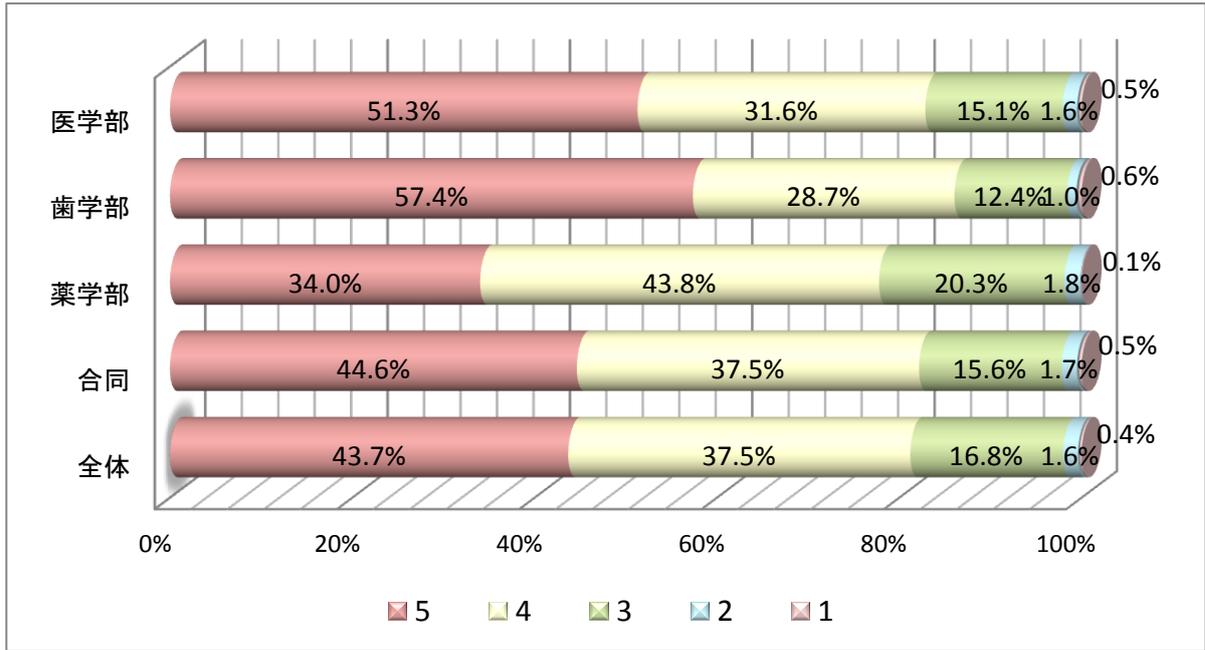
薬学部

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	外国語学科(英語分野)		英会話	4.63	16.5
2	共通教育センター(外国語・英語)		英会話	4.48	17
3	化学科		基礎化学	4.37	135.5
次点	共通教育センター(外国語・英語)		英会話	4.33	17.75

複数学部合同実施科目

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	化学科		準備化学	4.65	12.25
2	化学科		教養の化学	4.52	90.5
3	共通教育センター		イタリア語会話	4.50	32
3	情報科学科(数学分野)		情報の数理	4.50	8
次点	人間科学科(文学分野)		いのちの文化論	4.48	25.5

総合評価ポイントの分布



(単位:名)

評価	5	4	3	2	1	合計	
医学部	811	499	238	25	8	1,581	100%
歯学部	288	144	62	5	3	502	100%
薬学部	755	971	451	39	3	2,219	100%
合同	1,202	1,011	421	45	14	2,693	100%
全体	3,056	2,625	1,172	114	28	6,995	100%

- 5:非常に良い・強くそう思う
- 4:良い・ややそう思う
- 3:普通・どちらとも言えない
- 2:あまり良くない・あまりそう思わない
- 1:悪い・全くそう思わない

参考資料

- ◆ 評価マークシート
 - ・ 学生による教員の評価
 - ・ 教員による講義・実習の評価
 - ・ 学生による科目全体の評価
- ◆ 共通教育センター授業科目一覧



学生による教員の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項

- ・用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- ・HBまたはBの鉛筆を使用してください。
- ・機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- ・消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク ●
短い うすい はみだし
悪いマーク ○ ⊗ ○ ⊗

授業科目 コード	千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
月 日	月	十	①										
	日	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
		十	①	②	③								
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
教 員 コ ー ド	千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
出席番号	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			

科目名
月日・時限
担当教員名
学年・番号・氏名

非常に良い	強くそう思う・ 良い	ややそう思う・ 普通	どちらとも言えない	あまり良くない・ あまりそう思わない	悪くそう思わない・ 全くそう思わない
-------	---------------	---------------	-----------	-----------------------	-----------------------

I 講義について	問1	講義(実習)はよく準備がなされていたか。	⑤	④	③	②	①
	問2	講義(実習)の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。	⑤	④	③	②	①
	問3	学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。	⑤	④	③	②	①
	問4	話し方はどうだったか。	⑤	④	③	②	①
	問5	学習意欲が刺激されたか。	⑤	④	③	②	①
	問6	この授業に対する総合評価を示してください。	⑤	④	③	②	①
II 反省	問7	自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。	⑤	④	③	②	①
III その他 (必要に応じて各科で設問してください)	問8	この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。(適切と思う時期があれば、自由記載欄に記入してください)	⑤	④	③	②	①
	問9		⑤	④	③	②	①
	問10		⑤	④	③	②	①
	問11		⑤	④	③	②	①
	問12		⑤	④	③	②	①
	問13		⑤	④	③	②	①
	問14		⑤	④	③	②	①

IV 記載欄	*書ききれない場合は裏面に記載してください。						
-----------	------------------------	--	--	--	--	--	--

教員による講義・実習の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項

- 用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- HBまたはBの鉛筆を使用してください。
- 機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- 消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク ●
短い うずい はみだし
悪いマーク ○ ⊗ ○ ~~○~~

授業科目 コード	千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
月 日	月	十	①								
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	日	十	① ② ③								
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
教 員 コ ー ド	千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
出席番号	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	

科目名
月日・時限
氏名

非常に良い	強くそう思う・	ややそう思う・良い	普通	どちらとも言えない・	あまり良くない	あまりそう思わない・	悪い	全くそう思わない・
-------	---------	-----------	----	------------	---------	------------	----	-----------

I 講義について	問1 講義・実習の準備は充分であったか。	⑤	④	③	②	①
	問2 要点をわかりやすく教授・指導できたか。	⑤	④	③	②	①
	問3 学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。	⑤	④	③	②	①
	問4 話し方は適切だったか。	⑤	④	③	②	①
	問5 学生の学習意欲を刺激できたか。	⑤	④	③	②	①
	問6 この授業に対する総合評価を示してください。	⑤	④	③	②	①
II 学生について	問7 学生の受講態度はどうだったか。	⑤	④	③	②	①
III その他 (必要に応じて資料で設問して)	問8	⑤	④	③	②	①
	問9	⑤	④	③	②	①
	問10	⑤	④	③	②	①
	問11	⑤	④	③	②	①
	問12	⑤	④	③	②	①
	問13	⑤	④	③	②	①
	問14	⑤	④	③	②	①

IV 自由記載欄	*書ききれない場合は裏面に記載してください。
-------------	------------------------

学生による科目全体の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項

- 用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- HBまたはBの鉛筆を使用してください。
- 機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- 消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク ●
短い うすい はみだし
悪いマーク ○ ⊗ ○ ~~●~~

授業科目 コード	千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
月 日	月	十	①								
	日	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
評 価 コ ー ド	千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
出席番号	百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	

科目名
学年・番号
氏名

非常に良い・多い	強くそう思う・ やや多い	ややそう思う・良い・ やや多い	普通・適当	どちらとも言えない・ やや少ない	あまりそう思わない・ あまり良くない・ やや少ない	あまりそう思わない・ 悪い・少ない	全くそう思わない・ 悪い・少ない
----------	-----------------	--------------------	-------	---------------------	---------------------------------	----------------------	---------------------

I 講義について	問1	内容量に対する時間数は多かったか少なかったか。	⑤	④	③	②	①
	問2	科目全体は系統だったか。	⑤	④	③	②	①
	問3	全体を通して、講師の質・講義に対する姿勢は良かったか。(良い・悪い教員について具体的氏名が挙げられる場合は自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問4	最新の知見・知識に触れることができたか。	⑤	④	③	②	①
	問5	資料は適切だったか。(良い・悪い具体的事例が挙げられる場合は自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問6	この科目をこの学年のこの時期に行う事は適切か。(不適切と思う場合は、どこで行うのが効果的と思うかをできるだけ自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問7	この科目の総合的な評価を示してください。	⑤	④	③	②	①
II 自己反省	問8	科目全体の統合した知識が身についたか。	⑤	④	③	②	①
	問9	講義(実習)に積極的に参加したか。	⑤	④	③	②	①
	問10	予習・復習を行ったか。	⑤	④	③	②	①
III その他 (設問に応じて各料で)	問11		⑤	④	③	②	①
	問12		⑤	④	③	②	①
	問13		⑤	④	③	②	①
	問14		⑤	④	③	②	①
IV 記載欄由	*書ききれない場合は裏面に記載してください。						

平成24年度 医学部・歯学部・薬学部第1学年授業科目一覧

医学部

歯学部

薬学部

科目名	科目名	科目名
医学総論	歯科医学概論	薬学入門
細胞生物学	人体生命科学	職業と人生
細胞生物学実習	心理学	生命と薬
心理学	数理統計学	医学総論
カウンセリング論	専門課程への化学	近・現代哲学
数理統計学	専門課程への生物学	近代日本文学
専門課程への化学	人体を観る・診る・描く	法学
人体を観る・診る・描く	English Reading & Writing	基礎数学
English Reading & Writing	English Speaking & Listening	情報科学
English Speaking & Listening	健康運動科学	情報科学演習
健康運動科学		基礎物理学
		物理学実習
		基礎化学
		化学実習
		基礎生物学
		生物学実習
		基礎英語Ⅰ
		基礎英語Ⅱ
		英会話
		健康運動科学
		健康スポーツ科学

複数学部合同

科目名	科目名	科目名
化学実験	いのちの倫理学	中国語会話
生物学実験	いのちの文化論	韓国語会話
情報リテラシー	人格の心理学	フランス語会話
物理学	医療と法律	ドイツ語会話
物理学実験	日本語表現論	イタリア語会話
哲学	ことばの諸相	スペイン語会話
法学	ドイツ文化論	準備物理学
近代日本文学	英語講読	準備化学
フィットネスとスポーツ		準備生物学
問題基盤型学習		教養の化学
		教養の生物学
		情報の数理

